

# 創薬活動の進捗状況

平成23年5月12日  
研究本部 川淵和一十

# 重点研究分野

内外の革新的技術の活用による  
基幹技術と発展領域の育成

生理活性脂質

創薬  
研究

探索研究提携本部

酵素阻害剤

プロテアーゼ  
キナーゼ

チャレンジ分野

膜輸送制御  
バ付医薬品

# 創薬組織

## 化合物創製・疾患領域の強化

先端医薬研究部  
探索研究部

探索・先端医薬

創薬研究部

中枢

循環器・泌尿器

血液・代謝

癌・免疫/アレルギー

医薬品化学  
研究部

脂質化学

受容体化学

構造解析

酵素化学

探索化学

コンピューター化学

# 最近の化合物創製状況

- H20に研究方針を再設定
- 重点分野や創薬・研究提携による  
革新的技術を活かした創薬が順調に進捗
- 現在までに約10化合物が前臨床ステージ
- 新方針下による化合物がPIに移行開始
- 4-5化合物がPIに移行する体制

# 前臨床化合物創製状況

化合物	作用機序他	期待される特徴
ONO -9054	脂質作動薬 点眼薬	緑内障治療薬: 1日1回単剤で眼圧を治療目標まで下げることが出来る
ONO -8055	脂質作動薬 経口剤	低活動膀胱治療薬: 有効な治療薬が無い. 安全で蓄尿機能に影響少ない
ONO -4059	酵素阻害剤 経口剤	リンパ腫治療薬: 既存薬抵抗性のリンパ腫に有効性を示す
ONO -4232	脂質作動薬 持続静注	心不全治療薬: 左心室拡張作用を有し, 既存薬で改善しにくい症状に有効
ONO -XXXX	受容体作動薬 経口剤	パーキンソン氏病治療薬: 既存薬より持続時間が長く, 副作用が少ない
ONO -XXXX	受容体拮抗剤 皮下	好中球減少症治療薬: G-CSFに替わる低分子代替薬

# H22年度PI移行化合物の特徴

化合物	作用機序他	期待される特徴
ONO -6950	CysLT1/2拮抗薬 経口剤, 1日1回	<b>喘息治療薬</b> : シングレア無効例に有効または優る有効性
ONO -3951(導入)	κオピオイド受容体作動薬 経口剤, 1日1回	<b>IBS治療薬</b> : 痛み・切迫感の改善効果が高く, 中枢性の副作用や便秘・硬便を引き起こさない
ONO -2952	MBR拮抗薬 経口剤, 1日2回	<b>IBS治療薬</b> : ストレスを軽減する事で, 安全かつ下痢・便秘・腹痛の三症状に有効
ONO -4053	DP拮抗薬 経口剤, 1日1回	<b>アレルギー性鼻炎治療薬</b> : 治療抵抗性である鼻閉に強い有効性を示す